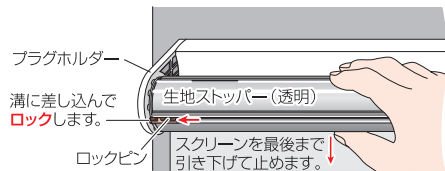


スクリーン(生地)を交換する方法 ワンロックロールスクリーン アルティス

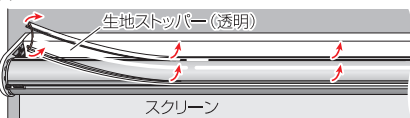
※ワンロックロールスクリーン(アルティス)は別売の専用スクリーン(生地)の交換が可能です。「アルティス」専用スクリーン(生地)の購入時には、製品サイズ(W:巾×H:高さ)、カラー及びタイプのご指定が必要になります。製品サイズ、カラー、タイプをご確認の上、販売店又は発売元にお問い合わせください。
※スクリーン(生地)の色やタイプの変更もできます。

●スクリーンの外し方

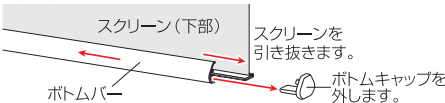
①スクリーンを最後まで引き下げて生地ストッパー(透明)を前面にして止め、プラグホルダー(左端)側のロールパイプの溝にはめ込まれたロックピンを左端に移動させてプラグホルダーの溝に差し込み、ロックしてください。



②ロールパイプから生地ストッパー(透明)を全て外した後、スクリーンを外してください。



③スクリーン下部のボトムキャップを外し、ボトムバーからスクリーンを引き抜いてください。

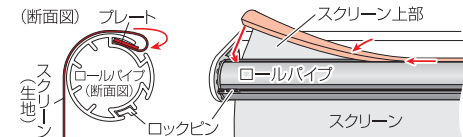


△お手入れ方法の注意

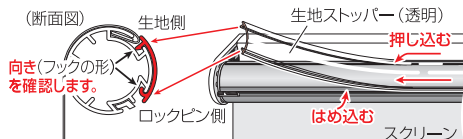
- ※スクリーンは洗えません。スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽く払ってください。水、漂白剤、液体洗剤等は使用しないでください。変質、変色や、シミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに殺虫剤をかけた後、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質や変色の原因になります。
- ※ボトムバー、プルボールの汚れは中性洗剤液に浸し、軽く絞った布で拭き取った後、乾いた布でからぶきしてください。シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。変質や変色の原因になります。

●スクリーンの取り付け方

①本体を窓枠から取り外し(ワンロックパーツ右のレバーを引き下げる)、スクリーン上部を内側から巻き込んでロールパイプの溝に差し込んでください。

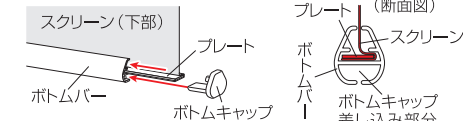


②生地ストッパーのフックの向きを確認し、先にロールパイプのロックピン側の溝部分にはめ込んだ後、スクリーン上部(生地側)を差し込んだ溝に押し込んでください。

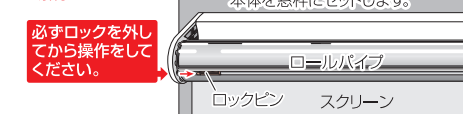


※全体が確実にハマっている事を必ず確認してください。

③スクリーンの下部のホッチキス止めされたプレート部分を半周巻き込んでボトムバーに全て差し込んだ後、ボトムキャップを差し込んでください。



④本体をブラケットにセット(「取付方法」参照)した後、プラグホルダー(左側)のロールパイプのロックピンを右に移動させてロックを解除してください。



△注意 操作をする前にロックピンのロックが外れている事を必ず確認してください。ロックしたまま無理に操作をしますとプラグホルダーから外れて落下したり、本体破損の原因になります。

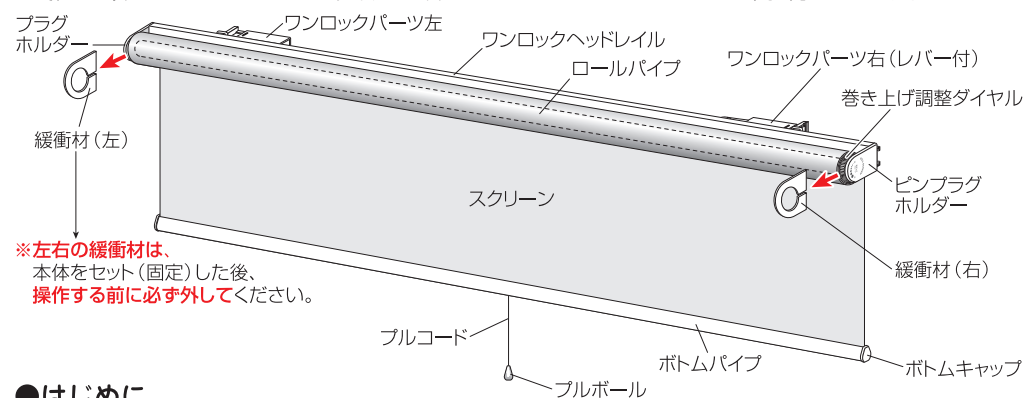
⑤「最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合」を参照してスクリーンを巻き上げた後、操作を確認してください。

※ロールパイプが空回りしてスクリーンが巻き上がらなくなった場合は、スクリーンを一番下まで降ろした状態からピンプラグホルダー側の巻き上げ調整ダイヤルを巻き上げ方向(速側)に、幅35~59cm:約10回転、幅60~180cm:約25回転させてスクリーンを巻き上げた後、再度巻き上げスピードを調整してください。(「巻き上げスピードの調整方法」参照)

ロールスクリーン アルティス ワンロックタイプ

取付方法及び取扱説明書 (脱着式)

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。この取付方法及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。お願い致します。そのあと大切に保管し、わからないときは再読しご活用ください。



※左右の緩衝材は、本体をセット(固定)した後、操作する前に必ず外してください。

●はじめに

この製品を取り付ける前に、梱包されております部品(本体、ワンロックパーツ右・左、補強用クギ)等をご確認ください。万一不足している場合、もしくは不良品がございましたら、販売店又は発売元までご連絡ください。

●主な材質

- ワンロックヘッドレイル：アルミニウム
- ボトムバー：PVC
- ロールパイプ：アルミニウム

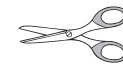
●部品明細

部品名	姿図	入数
ロールスクリーン 本体		1セット
ワンロックパーツ 右(レバー付)		1個
ワンロックパーツ 左		1個
補強用クギ		4本

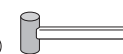
※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承願います。

●必要工具

ハサミ
(プルコード調整時使用)



金槌
(補強用クギ打ち付け時使用)

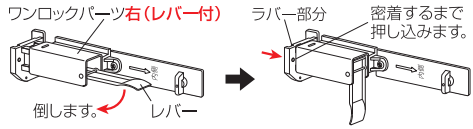


△取付時の注意

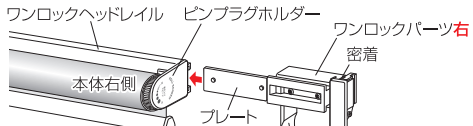
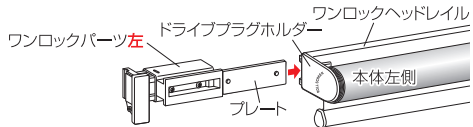
- ※この製品は強力に突っ張って取り付けますので、取り付け面の下地がしっかりしている所(柱等が通っている所)をご確認の上、必ず水平に固定し取り付けください。
- ※タイル面等滑りやすい壁面に付ける場合は湿気により滑ることがありますので乾いた布等で必ずお拭きの上、水平に固定し取り付けください。
- ※ボードやベニヤ等、弱い壁への取り付けは壁面を破損したり、落下する恐れがありますのでおやめください。
- ※火気、熱を発生するもののそばには取り付けしないでください。熱で燃えたりする恐れがあります。
- ※取り付けに際しては付属部品(本体、ワンロックパーツ右・左、補強用クギ)等の取扱いには、ケガをしない様十分にお気を付けください。なお、危険ですので、小さなお子様の手には触れない様ご注意ください。
- ※本体の分解・改造及び部品の改造は、絶対にしないでください。

取付方法 (各サイズ共通)

① ワンロックパーツ右(レバー付)のレバーを倒した後、ラバー部分をレバー側に密着するまで押し込んでください。(下図参照)



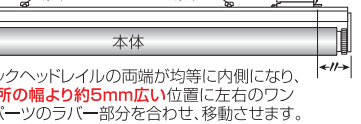
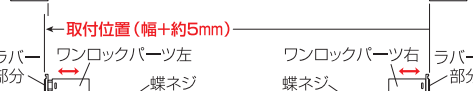
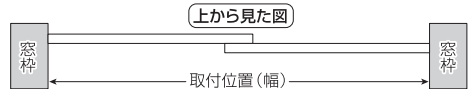
② 本体の取付位置を決め、ワンロックパーツの右・左の向きを確認し、ワンロックヘッドレイル側面の溝に左右共、プレート部分から差し込んでください。



レバーは下向きにしておきます。

注意 ワンロックパーツの向き、及び左右を確認し、入れ間違えないようご注意ください。

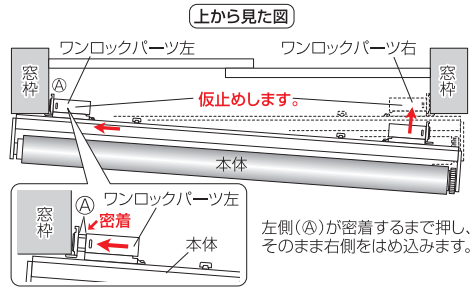
③ ワンロックヘッドレイルに差し込まれた左右のワンロックパーツの位置を取付場所に合わせて移動させ、ワンロックパーツ左右のプレートに付いた蝶ネジを締めて固定してください。



蝶ネジを右に回して、左右共にしっかり締め、固定します。

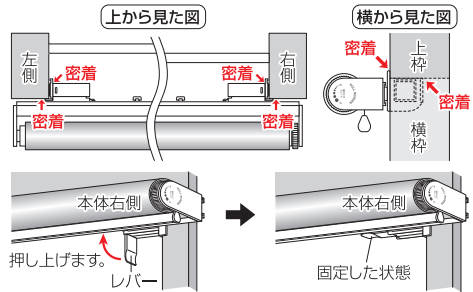
注意 ワンロックパーツがワンロックヘッドレイルに固定されて動かないことをご確認ください。

④ 本体の向きを確認した後、本体を両手で持ち、取付場所に仮止めてください。



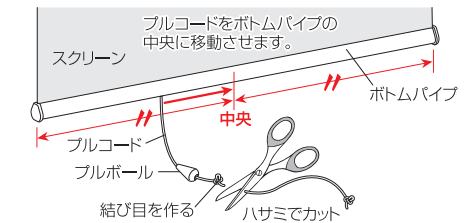
注意 ワンロックパーツ左の④部分にすき間が無い事を確認してください。万一、すき間が大きいと突っ張りが弱くなり、落下する恐れがあります。

⑤ 仮止めされた本体を水平で、取付位置の天井面及び左右が密着するように調整した後、ワンロックパーツ右のレバーを押し上げてしっかり固定してください。



注意 ワンロックパーツ右のレバーは必ず押し上げてください。また、ワンロックパーツ右のレバーは、取外す時以外はふれないでください。万一レバーが下がっていると落下する恐れがあります。

⑥ ブルコードをボトムパイプの中央に移動させて長さを調整してください。

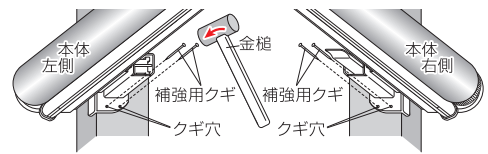


注意 ブルコードがボトムパイプの中央にない状態や取り付け場所が水平でない状態で昇降を繰り返しますと巻きズレを起こしスクリーンが傷ついたり、破損や故障の原因になる恐れがあります。

落下防止のために

● 定期的な突っ張り状態を確認し、外れやすくなった場合は「取付方法」の③④⑤を参照し、再度取り付けを行なって強度を増してください。

● 万一の落下防止に備え、梱包されております補強用クギをワンロックパーツ左右に開いているそれぞれ2個のクギ穴に金槌で打ち込んで頂く事をおすすめ致します。**※外す時は補強クギを抜いてください。**

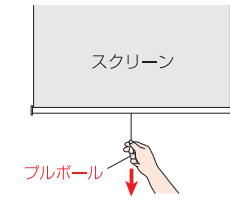


操作方法

操作する前に以下の項目を必ず確認してください。

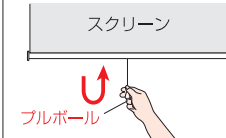
1. 本体が水平に取り付けられていますか?
2. 本体が落ちないように取り付けられていますか?
3. 左右の緩衝材は取り外されていますか?
4. ブルコードがボトムパイプの中央にありますか?

● 下降させた位置で停止させる場合



ブルボールを持ってスクリーンをゆっくり下げ、目的位置で止めるとスクリーンは止まります。

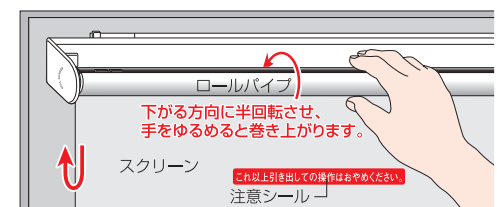
● 停止した位置から上昇させる場合



ブルボールを持ったまま、スクリーンを少し下げてから手をゆるめる(上げる)とスクリーンは上昇します。上昇の途中で止める場合は停止位置で再度、ゆっくり下げると止まります。

注意 ロールスクリーンは、必ず表示サイズ内の高さで使用ください。注意シール以上引き出して使用しますと故障の原因となります。

最後まで引き出し、巻き上がらなくなった場合



注意 ストップが解除されると急激に巻き上がり思わぬケガや事故の原因になります。ストップの解除が確認されたら必ずロールパイプの回転を止めて、ブルボールを持って操作してください。

操作上の注意

正しい状態

確認

スクリーン

誤った状態

シワ・ホツレ・故障・破損

スクリーン

中央を確認 ↑ ゆっくり上げます。 ↓

ブルコード ↑

ブルボール ↓

ボトムバー ↓

※取付場所が水平でない時やブルコードが中央にない状態又は、ボトムバーやスクリーンを持って操作しますとスクリーンを巻き上げた時、巻きズレが起こりスクリーンにシワやホツレが発生し、本体の故障、破損の原因になる恐れがあります。巻きズレが起きた時は、ブルコードが中央にあることを確認した後、必ずブルボールを持ってスクリーンを下げ、ズレを直しながら、ゆっくりと上昇させてください。

巻き上げスピードの調整方法

スクリーンを巻き上げ、ロールパイプが回らない状態(左手で本体を持つ)にしてピンプラグホルダー側の巻き上げ調整ダイヤルを回して調整してください。

注意 巻き上げ調整ダイヤルを速側(巻き上げ方向)に回し過ぎると内蔵のバネが破損しますので半回転ごとにスクリーンの昇降状態を確認しながら行ってください。

取り扱い上の注意

- ※スクリーンは、表示サイズ内の高さでご使用ください。
- ※本体及びボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと変型したり、破損、落下の原因になります。危険ですとおやめください。
- ※スクリーンの近くでストーブ(暖房器具)などを使用しないでください。火災の原因となります。
- ※雨がスクリーンに直接かかる場所や湿気が多い場所で使用しないでください。故障したり、変色、シミ、カビなど汚れの原因になります。
- ※スクリーンに風が強くとあたる時は、スクリーンを巻き上げておいてください。スクリーンがあおられて、置物などにあたり破損する恐れがありますので十分お気を付けてください。